

一般社団法人日本体力医学会定例理事会（2024年11月）議事録

日時：2024年11月29日（金）午後5時00分～7時15分

場所：ZoomによるWeb会議

議長：永富良一理事長

出席者：永富良一理事長、

内藤久士、小熊祐子各副理事長、
中田由夫常務理事、赤間高雄、井上 茂、
岡浩一郎、甲斐裕子、勝川史憲、後藤勝正、
下光輝一、須永美歌子、竹森 重、田畑 泉、
田村好史、内藤義彦、中里浩一、成田和穂、
檜垣靖樹、前田清司、町田修一、宮下政司、
宮地元彦各理事、石井好二郎監事、
松山郁夫第78回大会長、
山津幸司第78回大会実行委員長、
家光素行第79回大会実行委員長、
津田英一第80回大会長

欠席者：浜岡隆文、宮川俊平各理事、

清田 寛、小林康孝各監事

【審議事項】

1. 前回議事録の承認（永富理事長）

理事会終了時までには訂正等がなかった場合には、自動的に承認されることにした。

2. 総務委員会委員の増員について（井上総務委員長）

井上総務委員長より資料に基づき、総務委員会委員を3名増員することが提案され、承認された。

3. シニア会員候補者について（井上総務委員長）

井上総務委員長より資料に基づき、シニア会員の申請資格対象者が報告され、審議の結果、承認された。例年同様、事務局から候補者へシニア会員のご案内を送付する。

4. 名誉会員推薦内規の改定について（井上総務委員長）

井上総務委員長より資料に基づき、現状の名誉会員推薦の運用に合わせる形で名誉会員推薦内規を改定することが提案され、審議の結果、承認された。

5. スポーツ医学研修会について

（中里スポーツ医学研修会委員長）

中里スポーツ医学研修会委員長より資料に基づき、スポーツ医学研修会の開催再開にあたり、オンライン講義とオンライン試験を利用した開催方式の検討を進めることが提案され、審議の結果、承認された。

6. 大会における一般演題応募時の倫理承認の義務化について（成田倫理委員長）

成田倫理委員長より資料に基づき、佐賀大会の一般演題応募者へのアンケートの集計結果を踏まえ、今後の大会における一般演題応募時の倫理承認を義務化すること、倫理承認を得ているかどうかの確認方法については大会長に一任することが提案され、審議の結果、承認された。

7. 学会大会時の本部企画プログラムについて

（町田学術委員長）

町田学術委員長より、学会大会における本部企画プログラムのあり方について理事会内で議論と認識の共有を行うことが提案された。須永プログラム委員長より、本部企画プログラムの立案にあたり、学会として目指すべき目標や使命を共有することが提起された。これを受けて永富理事長より、身体活動・運動と健康に関する豊富な知見、幅広い領域に及ぶ人材が日本体力医学会の特色であり、研究のみならず産学連携による社会実装も重要な課題であることが示された。

大会実行委員会と理事会の間での連携を行う際の体制やスケジュール、本部企画プログラムの件数や割合の目安について、今後の検討事項となった。次回滋賀大会に向けては、プログラム委員会が、学術委員会、渉外委員会、その他の委員会の企画案をとりまとめて大会実行委員会側と調整および連携を進める予定である。

また、宮下渉外委員長より、渉外委員会が行ってきた大会等における国際交流や若手研究者へのサポートの取り組みを、「JPFMS」の国際化や「体力科学」の投稿数増加に活用することについて提起された。後藤編集委員長より、学会大会における本部企画は抄録だけでなく論文としての投稿を促進したいこと、また、特に若手研究者の論文投稿にあたっては周囲の研究者のサポートを期待したい旨が述べられた。

8. その他

1) 大会への協賛団体・企業について

永富理事長より、大会協賛団体・企業への感謝を示す場を設けることについて提案された。

【報告事項】

1. 各種委員会報告

1) 総務委員会（井上総務委員長）

資料に基づき、各種事業の実施状況が報告された。

1. 規程WG

(1) 定款の変更（代議員制度導入の検討）

- ・大会後のアンケート調査で代議員制度の導入について自由記述の意見を収集
- ・何らかの自由記述があったのは55人/424人（約13%）

(2) 規程類の公開

- ・理事会確認の後、学会ホームページにおいて公開済み
- ・今後は、規程内容の公開を進める予定
- ・「大塚スポーツ医・科学賞選考規程」について規程の改訂を検討中

2. 部会制・若手の会WG

(1) キックオフミーティング@佐賀大会

（2024年9月2日（月）17:00-18:00）

- ・当日受付をしていないため参加人数は明確ではないが、参加後のアンケートには、若手の会15名、理学療法士部会10名、健康運動指導士部会7名、医師部会6名、アスレティック

トレーナー部会7名から回答をいただいた(事前申し込みは、若手の会30名, 専門部会33名)。

(2) 部会の設立に向けた動き

- ・①若手の会, ②理学療法士部会, ③健康運動指導士部会, ④医師部会, ⑤アスレティックトレーナー部会の5つの部会において, 世話を斡立し申請書を提出することによる部会の立ち上げを検討した。
- ・①～④については, 次回の滋賀大会において集会の開催を希望しているため, 会場の確保を依頼したい。⑤については, 本年度の設立は見送るという連絡をいただいた。

3. 会員情報WG

(1) 大会後アンケート調査の実施

- ・全会員向けに会員サービス検討のためのアンケート調査, 及び非会員の大会参加者向けに第78回日本体力医学会(佐賀大会)についてのアンケート調査を実施した。

2) 編集委員会(後藤編集委員長)

資料に基づき, 「JPFMSM」誌, 「体力科学」誌の投稿・掲載状況が報告された。

「JPFMSM」誌, 「体力科学」誌の投稿・掲載状況
<投稿状況> (2024年8月1日～2025年10月31日)

「JPFMSM」誌: 新規投稿8編(内海外4編)
※前年同期間: 新規投稿14編
10/31現在, 審査中5編

「体力科学」誌: 新規投稿2編
※前年同期間: 新規投稿6編
10/31現在, 審査中4編

<掲載予定>

「JPFMSM」誌

- Vol. 13, No. 6 (2024年11月25日発行)
Proceedings 448編(予稿集掲載分598編)
- Vol. 14, No. 1 (2025年1月25日発行)
Regular Article 2編, Short Communication 1編
- Vol. 14, No. 2 (2025年3月25日発行)
Regular Article 3編
- Vol. 14, No. 3 (2025年5月25日発行)
Regular Article 2編, Short Communication 1編
- Vol. 14, No. 4 (2025年7月25日発行)
Regular Article 2編, Short Communication 1編
- Vol. 14, No. 5 (2025年9月25日発行)
Regular Article 2編, Short Communication 2編
- Vol. 15, No. 1 (2026年1月25日発行)
Regular Article 1編

「体力科学」誌

- Vol. 73, No. 6 (2024年12月1日発行)
原著1編, 資料1編
- Vol. 74, No. 1 (2025年2月1日発行)
大会指定演題
- ◆特集号「体力科学」誌
- 第6回特集: 『サルコペニアについて熟考する』
4編掲載予定
- ◆第78回佐賀大会からの依頼総説および教育講座
総説(体力科学)3編, 教育講座(体力科学)2編,
総説(JPFMSM)1編 掲載予定

◆メール配信文について

JPFMSMの発行にあわせて掲載論文の情報をメール配信してきたが, 体力科学の掲載論文についてもあわせて配信する。

3) 渉外委員会(宮下渉外委員長)

資料に基づき, 各種事業の実施状況について報告された。

1. European College of Sport Science (ECSS) との交流シンポジウム

- ・ECSS Rimini 2025での公募シンポジウムへの派遣(日本体力医学会会員×2名を上限に)を公募したところ, 応募者がなく, 渉外委員会で検討後, 委員による推薦を経て, 以下1名より応募をいただき, 決定した。

日本体力医学会側: 安藤創一先生(電気通信大学大学院情報理工学系研究科准教授)

テーマ: New perspective of exercise-cognition interaction

ECSS側: Flaminia Ronca (University College London), Benjamin Tari (University of Oxford)

- ・ECSSの事務局より, 第79回日本体力医学会大会(滋賀)への派遣者3名について, 氏名と連絡先について, 連絡があった。

2. 2025 World Congress on Kinesiology and Sport Scienceへの企画書提出

- ・2025年10月25日から27日に韓国の済州島で開催予定の2025 World Congress on Kinesiology and Sport Scienceの大会長より, 企画書提出の依頼があり(日本体力医学会が共催のため), 短期間での演者選出であったため, 理事長に相談後, 委員会で選出し, 理事会への報告との指示があり, 以下のとおり企画書のテーマと演者の選出を行った。

企画テーマ: Evidence identified by health science studies, are they practical in real life? - Responsibilities of health science research

演者: 永富良一先生(東北大学名誉教授), 紙上敬太先生(中京大学教養教育研究院准教授), 城所哲宏先生(日本体育大学体育学部准教授), 山田満月先生(東海学園大学スポーツ健康科学部助手)

4) 広報委員会(田畑広報委員長)

学会ホームページ上で「体力医学に関する最近のトピック」の記事掲載を開始した。

5) 男女共同参画推進委員会

(甲斐男女共同参画推進委員長)

- ・滋賀大会における男女共同参画推進委員会企画を検討中である。
- ・佐賀大会において, 公募シンポジウムの登壇者の女性比率, 若手比率の向上が見られた。
- ・「体育の科学」誌のDiversity & Inclusion (D&I) 企画への参加について, 学会員の構成に関する情報公開と合わせて, 対応を進める予定である。

6) 学会賞選考委員会(宮地学会賞選考委員長)

ミズノスポーツ振興財団スポーツロジー研究助成への推薦のための選考を行い, 2名の会員を選出した。

7) 財務委員会 (中田常務理事)

宮川財務委員長が欠席のため、中田常務理事より、来年度の予算の要望については早期に申し出を頂きたい旨、依頼がなされた。

2. 監事の辞任について (永富理事長)

永富理事長より、家光素行氏の監事辞任の届出を受領したことが報告された。

3. 第78回 (佐賀) 大会の報告
(山津第78回大会実行委員長)

山津実行委員長より、第78回 (佐賀) 大会について、総参加者数は1,315名であったこと、収支報告は会計監査終了後の次回理事会で行う予定であることが報告された。

4. 第79回 (滋賀) 大会の進捗状況
(家光第79回大会実行委員長)

家光実行委員長より、第79回大会の準備状況について報告された。須永プログラム委員長、町田学術委員長、宮下渉外委員長とも連携して、現在プログラムの内容の検討を進めている。

5. 第80回 (青森) 大会の進捗状況 (津田第80回大会長)

津田大会長より資料に基づき、第80回大会の準備状況について報告された。

6. 日本医学会連合第3回社会部会リトリート参加者に

ついて (小熊副理事長)

小熊副理事長より、日本医学会連合第3回社会部会リトリートに日本体力医学会から3名の若手研究者が参加予定であること、企画委員として小熊副理事長と川上諒子氏も参加予定であることが報告された。

7. 日本医学会連合TEAM事業 (代表: 日本動脈硬化学会) への協力状況について (小熊副理事長)

小熊副理事長より資料に基づき、日本医学会連合TEAM事業 (代表: 日本動脈硬化学会) の「脳心血管病予防に関するリスク管理チャート」への協力状況について報告された。

8. 学会ホームページについて (永富理事長)

永富理事長より、学会ホームページの利便性の向上について、田畑広報委員長と協力して検討予定であることが報告された。

9. 大塚スポーツ医・科学賞選考規程について
(中田常務理事)

中田常務理事より、規程の改定について大塚製薬株式会社と協議中であることが報告された。

10. 学会担当税理士の変更について (永富理事長)

永富理事長より、日本体力医学会の消費税申告等税務を担当してきた馬目公認会計士が一身上の都合により当該業務を離れることが報告された。